

『アリス』刊行 150 周年記念出版！

表象のアリス

テキストと図像に見る日本とイギリス

千森幹子 著

ルイス・キャロルが創造した少女アリスは、その誕生から今日まで、挿絵画家や翻訳者たちによってどのように描かれてきたか。原作のノンセンス世界を見事に解釈・構築したテニエルの挿画や、明治以降の日本の翻訳・翻案作品に現れた多様な少女像を、アリス図像研究の第一人者が初めて詳細に比較分析した労作。『不思議の国のアリス』150周年を記念して刊行、図版多数！



A 5 判上製 / 462 頁 / 定価 5,800 円 + 税

ISBN978-4-588-49509-0

C1090

プロローグ
 第一部 キャロルの内と外なるアリス
 第一章 キャロルと二つの『アリス』物語
 第二章 挿絵画家キャロルとテニエル
 第二部 オリентと『アリス』
 第三章 オリентと『アリス』
 第四章 初期『アリス』翻案と翻訳 (1899-1912)
 第五章 大正児童雑誌における『アリス』邦訳
 第六章 1920年から1933年の『アリス』翻訳
 エピローグ——現在のアリス

お正月お伽噺

◎著者

千森幹子 (ちもり・みきこ)

帝京大学外国語学部教授。英国イーストアングリア大学大学院で博士号 (Ph.D.) を取得。大阪明浄女子短期大学講師・助教授、ケンブリッジ大学クレアホール学寮客員フェロー、山梨県立大学国際政策学部教授を経て、2014年から現職。専門領域は18世紀～19世紀イギリス小説、日英比較文学、図像研究、翻訳研究。主な著書に、『Sense in Nonsense: The Alice Books and Their Japanese Translators and Illustrators (単著)』、『不思議の国のアリス～明治・大正・昭和初期邦訳本復刻集成』(編集解説、エディションシナプス、2009) ほか。

切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540 / FAX 03-5214-5542

表象のアリス テキストと図像に見る日本とイギリス

ISBN978-4-588-49509-0
 定価6264 円(本体5800円+税)

▶ 2015年 4月発売 (冊)

書店名・番線

注文書

お名前: _____ ☎
 ご住所: 〒 _____